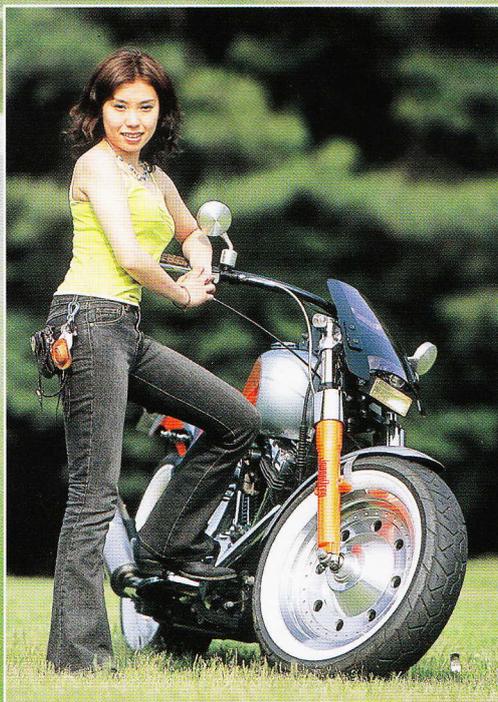




2000

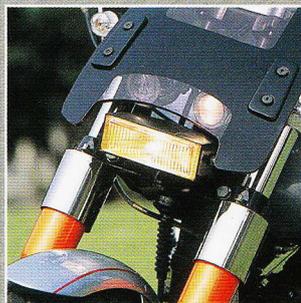


RAM ON SHOW ライド・オン・ショー
— STAGE 6

RAM 20

RAM2000

オーナー：KANAKO
カスタム製作：JAPAN DRAG C.C.
年式：2000
モデル：FLST-S
エンジン年式：2000
モデル：TC-88
排気量：1500cc
点火方式：HI-4 TC
コイル：H-D
シリンダーヘッド：H-D
バルブ：H-D
シリンダー：H-D
ピストン：H-D
ケース：H-D
クランク：H-D
カム：H-D
キャブレター：H-D
エアクリナー：ROUND K&N
エキパイ：H-D Modified
マフラー：SUPER TRAP 4" INTERNAL
ミッション：H-D 5 SPEED
シフト形式：FOOT
クラッチ：H-D
電装：12V
1次ドライブ：H-D CHAIN
2次ドライブ：H-D BELT
ドライブスプロケット：
ドリブンスプロケット：
フレーム年式：2000
タイプ：SOFTAIL
製作：H-D
ネック角：STOCK
延長：カット：
Fフォーク：FLSTC
アウターチューブ：FLSTC
インナーチューブ：FLHTC
トリプルツリー：FLSTC
ハンドル：JDCC WILDERS BAR 20R
ライザー：H-D
Rショック：H-D
スイングアーム：H-D
Fフェンダー：FXWG
Rフェンダー：H-D Modified
ガソリンタンク：H-D Modified
ベツコック：H-D
シート：JDCC ONE OFF
オイルタンク：H-D
ヘッドライト：PROJECTOR×2&FOG
LAMP
ウインカー：FCGC&KJIMA
テールランプ：JDCC DUO LAMP
スピードメーター：H-D
Fベグ：FOOT BOARD
Rベグ：H-D
シーシーバー：
Fホイール：FLSTF 16" Modified
スポーク：
ハブ：
リム：
タイヤ：MAXXIS 150/80H16FWW
Rホイール：FLSTF 16" Modified
スポーク：
ハブ：
リム：
タイヤ：MAXXIS 150/80H16FWW
Fキャリアー：NISSIN 6 PISTON
マスターシリンダー：JDCC BILLET MINI
TANK MASTER
ローター：H-D FROATING
Rキャリアー：H-D
マスターシリンダー：H-D
ローター：H-D FROATING
塗装タイプ：2 TONE
色：ICE BLUE PEAL METALIC&ORANGE
塗料：URETHAN
ペインター：YASUYOSHI OGAWA



SPECIAL THANKS
JAPAN DRAG CUSTOM CYCLES
TEL0492-46-3528
www.japan-drag.com

PHOTO:KOJI NOMURA

RIDE ON SHOW

ハーレー乗りの女友達に触発されて、二輪免許を5年前に取得した加奈子嬢。トラブルの多かったアイアンスポーツを直しながら乗っていたが、ある日行きつけのジャバンドラッグで、フロントまわりが外されタンクがへこんだ'00年式のツインカム88と出逢う。もともとビッグツインに憧れていた彼女は、それに乗り換えることになる。「大きいけど重たすぎず、なにより乗りやすく」という注文を受けたのは、キャリア20年を超える名ビルダーの小川氏。その仕事はさすがの一言である。バイク単体として見た場合、そのユニークな形状が際立ちながらもしっかりとハーレーの存在感を持っていて、良い意味で素人ウケするスタイリングとなっている。が、オーナーが操る様子を目の当たりにすると、人馬一体という使い古された表現がふさわしく、「彼女以外が乗ってはサマになるまい」そう思われる。

事故によりスプリンガーを失ったFLSTSiは、FLHTC用の2"短いインナーチューブを使ってローダウンされたFLSTC用のグライドフォークを装着。リアサスはそのままだが、リアフェンダーのサイドをカットして浅く取り付けすることで、前下がりのクラウチングスタイルに。これはホットロッドの手法でもあり、車高を下げて乗りづらくすることを嫌った結果でもある。マフラーはスーパートラップの性能を合法的に楽しむためのインターナルタイプ。カチ上げることによってバンク角の確保と軽快感を演出。前後16"のFLSTF用ディッシュホイールは表面を削ってドレスアップし、ドリルド加工することによってワイヤーロックを通せるようにしている。また、フロントはリアホイール用をベルトプリー用のボルト穴を埋めて使用している。無論タイヤはマキシス・ホワイトウォールである。

ガソリンタンクは事故の凹みを逆に利用してディンプル加工。見た目のボリュームをさほど損なわず軽量化に繋げている。ワンオフのスカルアイダッシュにはデジタルメーターを入れて手間暇かけて仕上げる。「本来持っている機能はすべて活かしたかった」と、オートキャンセラーやインジケーター類など、電装もストックを活かしている。足着きが良く快適なシートとフットボード、そして幅広いJDCCワイルダーズバーによって長距離も疲れないポジションを確保。そしてインパクト溢れるフロントマスクは「バイクの顔を作りたかった」という遊び心の産物。CB125カスタム用の風防やピレットZⅡミラー、ニッシン製ブレーキなど、国産パーツを上手く流用し、無国籍風だがある意味ジャパニーズスタイル、と言える仕上がりとなっている。

